

資料6

空調整備（普通教室）に係るLCC（生涯費用）比較

		パッケージエアコン（業務用）	ルームエアコン（家庭用）	リース
一般的な耐用年数		15年	6年	-
費用	初期整備費 キュービクル含む	1,411,764千円	584,770千円	+ 設計費 + 保守料金 + 会社利益
	更新費用（30年周期） 撤去費は考慮していない	856,240千円	979,080千円	
	国庫補助	216,848千円	0千円	
	計	2,051,156千円	1,563,850千円	
考 察	<p>室温の安定が図れる。 比較的、静音。 教務室等で集中管理が可能。 コスト比較 国庫補助事業の対象ではあるが、採択される保証はない。また、負荷計算・容量計算による基準に見合った機器を選定する必要がある。 × 事業量が大きいため、短期間での整備が困難。施工時の市内業者にも限りがある。 × 将来、廃校や空き教室となった場合、整備費の妥当性が問われる。</p>	<p>コスト比較 故障時には、地元の電気商店等に対応が可能（メーカーによる）。また、更新時は備品購入もしくは修繕費で対応も可能。 教室の用途が、その都度、変更になった場合、対応（移設・追加購入）は比較的容易である。 × 部屋全体が冷えない可能性がある。場合によっては扇風機との併用が必要。 × 露出配管になる可能性が高い。</p>	<p>リース期間は一般的に10年。期間満了後は譲渡も可。 機器は、パッケージエアコン・ルームエアコンいずれも選定可。 設計費・保守料をリース料に含む事も可能。 整備期間短縮が図れる。 費用の平準化が図れる。 工事の際、地元企業を優先することも可。ただし、工事が集中した場合、地元企業だけの実施は困難。 × コスト比較 × 途中解約の場合、残額を支払わなければならない。</p>	